

特定非営利活動法人地球緑化センター

平成 30 年度事業報告 令和元年度事業計画

(目次)

P.1	・・・平成 30 年度事業報告
P.7	・・・平成 30 年度活動決算書
P.8	・・・令和元年度事業計画
P.10	・・・令和元年度活動予算書

平成 30 年度事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

I. 「緑のふるさと協力隊」事業

1. 平成 30 年度（第 25 期）の派遣活動

- (1) 人数と市町村 18 市町村 19 名（男性 10 名、女性 9 名）
※社会人 11 名、学生 8 名（うち休学参加 2 名） 平均年齢 24.6 歳
※8 月末に 1 名（体調不良）、9 月末に 1 名（三者協議のうえ活動継続が難しいと判断）が活動中止
- (2) 実施期間 平成 30 年 4 月 4 日～平成 31 年 3 月 17 日
- (3) 事前研修 4 月 4 日（水）～11 日（水）山梨県立ゆずりはら青少年自然の里
内 容：講座（「緑のふるさと協力隊を理解する」、活動先研究等）、地域ボランティア活動、フィールドワーク、個人面談、個人発表「現地活動に向けて」
- (4) 事務局現地訪問 6 月～7 月
派遣先 18 ヶ所を事務局職員が訪問し、隊員、受入先担当者、および地元活動先の方などから状況を聞き取り、活動地見学などをして、活動の調整、アドバイス等を行った。
- (5) 受入先担当者会議 5 月 24 日（木）～25 日（金）1 泊 2 日 大橋会館（東京・目黒区）
受入市町村担当者同士の情報交換及び隊員サポートに関する意見交換を行った。
- (6) 中間研修 9 月 6 日（木）～8 日（土）国立オリンピック記念青少年総合センター
内 容：個人面談、個人発表「前半の活動を振り返って」
グループ討議「地域の“たから”を探し、つないでいく」
- (7) 総括研修 3 月 14 日（木）～3 月 17 日（日）国立オリンピック記念青少年総合センター
活動報告会 3 月 16 日（土）
出席者：受入市町村担当者、隊員家族、次期隊員、協力隊 OBOG、関係団体等約 100 名
内 容：協力隊員による活動報告、トークセッション、展示紹介、懇親会



2. 地域別ブロック交流会の開催

全国を 3 ブロックに分け、1 泊 2 日のプログラムを実施。

現役協力隊員や自治体担当者らがブロックごとに集まり、初日は、開催地の取り組みを見学・体験しながら協力隊の活動状況や地域の様子などについて情報交換し、交流を深める。2 日目は「地域が、集落が、元気になる方法をさぐろう」をテーマに、ふるさとフォーラムを開催。

ブロック別	開催場所	日 程	参加人数
東北・関東	山形県小国町	11 月 12 日（月）～13 日（火）	21 名
甲信・東海・北陸・近畿	愛知県豊根村	10 月 25 日（木）～26 日（金）	17 名
中国・四国・九州	岡山県鏡野町	11 月 21 日（水）～22 日（木）	18 名

3. 「若葉のふるさと協力隊」(短期体験プログラム) の実施

(1) 目的：農山村で暮らしてみたい、活動してみたいなど、農山村と関わるきっかけを求めている人や、「緑のふるさと協力隊」に興味を持っている若者たちを対象に、体験の機会を提供。「緑のふるさと協力隊」への参加を促す。

(2) 時期：7月～11月、4泊5日／17地域で開催

開催地・活動内容／参加者計 43名 (男 8、女 35／学生 37、社会人 6)

	活動先	期間	主な活動内容	参加人数
1	山形県小国町	7/26～30	農作業手伝い、魚のつかみどり大会準備、つる細工体験	1名
2	福井県大野市	8/2～6	化石発掘体験、農家手伝い、スイートコーン収穫祭参加	2名
3	愛知県豊根村	8/9～13	農作業手伝い、薪作り、グリーンステージ花の木イベント	2名
4	高知県大川村	8/9～13	村民祭準備、農作業手伝い、豆腐作り、竹細工体験	3名
5	滋賀県高島市	8/17～21	農作業手伝い、自治区防災訓練、鯖寿司作り体験	3名
6	宮崎県諸塚村	8/19～23	加工グループ手伝い、農作業手伝い、染め物体験	2名
7	群馬県高山村	8/27～31	農作業手伝い、郷土料理作り、ぐんま天文台見学	3名
8	福島県鮫川村	8/30～9/3	地域のお祭り(八朔祭り)準備、しそ餅作り、和紙うちわ作り	6名
9	宮崎県日之影町	8/30～9/3	農作業手伝い、有害駆除同行、わら細工体験、農家民泊	1名
10	長野県泰阜村	9/12～16	デイサロン訪問・交流、福祉大会参加、お年寄りの手伝い	3名
11	岩手県一関市	9/14～18	農作業手伝い、梅しそふりかけ作り、軽トラ市出店	6名
12	群馬県上野村	9/14～18	塩ノ沢地区祭り参加、地域演芸会手伝い、農作物収穫	2名
13	福井県美浜町	9/20～24	農作業手伝い、ボート体験、魚のさばき体験、民泊体験	3名
14	岡山県鏡野町	9/20～24	農作業手伝い、炭焼き体験、牛舎見学、足踏み洗濯体験	1名
15	岩手県花巻市	9/21～25	「東和棚田のんびり Run」準備、農作業、郷土料理作り	2名
16	長野県青木村	10/26～30	農作業手伝い(りんご・そば)、味噌料理作り、炭焼き体験	2名
17	福井県坂井市	11/19～23	自然薯畑手伝い、狩猟登山、加工部手伝い、縄ない体験	1名



(群馬県高山村)



(長野県泰阜村)



(高知県大川村)

4. 平成31年度(第26期)へ向けて

(1) 平成31年度受入先自治体募集(募集締切 11月30日)

- ・全国山村振興連盟(機関誌に募集記事掲載)等の関係団体と連携
- ・派遣要請 16市町村・17名

(2) 第26期隊員募集活動

①説明会(ふるさとカフェ)開催

- ・全国4ヶ所（東京・名古屋・大阪・福岡）、計6回実施。
- ・経験者の声を多く聞ける場としてイベント形式で企画。

②その他、広報活動

学校、団体訪問	1) 学校での講義・説明会…明治大学農学部（6/7）、静岡大学農学部（6/20）、宇都宮大学農学部（7/13）、千葉商科大学人間社会学部（11/1）、東京環境工科専門学校（11/6）、日本女子大学（11/22 ※鈴木監事） 2) 学校・団体訪問…専門学校、大学ボランティアセンター、就職課、ハローワーク・ジョブカフェ、就農・移住相談関連団体等
インターネット	1) フェイスブック広告実施 2) 求人サイト「日本仕事百貨」に募集記事掲載（11/12～2週間） 3) 掲示板への投稿（Yahoo!ボランティア、日本財団など） 4) 求人サイト「DRIVE キャリア」に募集記事掲載（1/31～3月末） 5) 求人サイト「イタ」に募集記事掲載（2/7～2週間）

(3) 選考スケジュール

◇隊員募集：12月21日（金）締切 ◇面接選考：1月20日（日）（会場：東京）

◇二次募集：2月～3月

(4) 応募・選考結果

- ・問い合わせ数 120件 ※昨年度（25期）200件 ・参加申込者数 12名 ※昨年度（25期）27名
- ・選考結果（隊員決定） 11名（男性3名、女性8名）

(5) 財政基盤の強化に向けて

事務局運営の財政基盤の強化に向けて、派遣事務費の増額を行った。

（隊員一人あたり：年額60万円→72万円）

5. 大学・関係団体との連携

(1) 大学・専門学校との協力連携

- ①明治大学 農学部 「食料環境政策総合講座」（3年生対象）
- ②静岡大学 農学部 「コミュニティビジネス論」（2年生対象）
- ③宇都宮大学 農学部 「新入生セミナー（農経）」（1年生対象）
- ④千葉商科大学 人間社会学部 「現代社会論」（1年生対象）
- ⑤東京環境工科専門学校 「キャリア演習」（2年生対象）

(2) 「緑のふるさと協力隊」OBOGとの協力連携

- ①OBOG通信の発行、タマリスクの発送（年2回）
- ②第26期募集広報の協力（広報先の開拓、隊員募集説明会やイベント等での体験談発表など）
- ③第24期緑のふるさと協力隊 文集「ORANGE（オレンジ）」発行

II. 体験・交流事業

1. 森林ボランティア（山と緑の協力隊）の実施

(1) 森林ボランティア活動の開催（9回、参加者201名）

	プログラム名	実施日	活動内容	参加人数
1	第213回赤沢プログラム	5/19(土)～20(日)	ヒノキの除伐、間伐	14名
2	第53回湘南海岸林ボランティア	6/9(土)	蔓切りと圃場の草刈り	37名

3	第 214 回福島復興植林ボランティア	6/23(土)	植林、復興視察	22 名
4	第 215 回三宅島復興植林プログラム	7/6(金)～8 日(日)	植林、三宅島内散策、森林教室	16 名
5	第 54 回湘南海岸林ボランティア	7/28(土)	台風のため中止	23 名
6	第 55 回湘南海岸林ボランティア	9/22(土)	蔓切りと圃場の草刈り	22 名
7	第 216 回三宅島復興植林プログラム	10/5(金)～7 日(日)	植林、三宅島内散策、森林教室	16 名
8	第 217 回赤沢プログラム	10/20(土)～21(日)	ヒノキの除伐、間伐	22 名
9	第 56 回湘南海岸林ボランティア	11/17(土)	間伐	29 名



(第 55 回湘南海岸林ボランティア)



(第 213 回赤沢プログラム)



(第 216 回三宅島復興植林プログラム)

(2) 「森林・竹林・里山を整備する仲間の会②」との連携・協力

①みどりとふれあうフェスティバル 共同出展 5 月 12 日(土)、13 日(日) 日比谷公園

②富士山緑化応援隊の富士山国有林(静岡森林管理署)における活動支援

③(公財) かながわトラストみどり財団への助成金申請、“やどりき水源林”活動グループ活動支援

(3) 日本大学サークル「森友」への活動支援(神奈川県山北町ほか)

2. 企業(社会貢献活動・CSR) 体験・交流活動の支援活動

(1) 企業主催のボランティアプログラム支援 (実施 11 回、参加者 465 名)

企業・団体名	活動場所	日・活動内容	人数
メタウォーター株式会社	東京都 奥多摩町	4/12(木)～13(金)新入社員研修 除伐、植樹	37 名
		7/21(土)下草刈り	21 名
		9/15(土)下草刈り※雨天中止	23 名
沖電気工業株式会社	静岡県伊豆市	5/19(土)間伐、除伐	71 名
		10/13(土)間伐、除伐	44 名
電機連合	岩手県 陸前高田市	6/2(土)～4(月)高田松原再生ボランティア	64 名
		7/14(土)～15(日)第 2 回実行委員会下見	13 名
		8/4(土)～9(木)復興支援ボランティア	64 名
株式会社 LIXIL 住宅研究所	山梨県 上野原市	4/14(土)植樹	60 名
		10/19(金)遊歩道整備	45 名
(株)イーブックイニシアティブジャパン	東京都三宅村	10/26(金)～28(日)植樹・島内散策・社内研修	11 名



(メタウォーター株式会社)



(沖電気工業株式会社)



(株式会社 LIXIL 住宅研究所)

- (2) ECナビへの支援協力
ECナビ「スマイルプロジェクト」でのクリック募金や検索募金による広告収益の寄付。
毎月提出する活動報告は、ECナビホームページに掲載される。
- (3) 新規企業の開拓
㈱トゥルースピリットタバコカンパニー、フクダコーリン㈱、JXインシュランス㈱、
湘南スポーツコミュニティセンター、㈱大東、DHLジャパン、大同生命保険㈱などが
定例プログラムに参加。

3. 中国・緑化交流事業

- (1) 緑の親善大使
第1回 涿州 緑の親善大使 時 期：5月24日（木）～5月27日（日）
参加者：親善大使7名、内蒙古大学生2名、北京ローソン12名
内 容：涿州市高官庄鎮で植林、地域住民や内蒙古大生、協力企業従業員との交流・共同作業
- (2) 企業プログラム
株式会社日本触媒 中国内モンゴル エジンホロ旗植林事業 視察
時 期：11月29日（木）～12月1日（土） 参加者：㈱日本触媒3名
内 容：植林地全体の視察、エジンホロ鎮蒙古族小学校での交流事業、現地林業局との懇親会

4. 「緑の学校」(環境教育プログラム)

- (1) エコ語り部チームの活動（紙芝居上演・クラフト体験の実施）
各種イベントでの実施
・第45回平塚市緑化まつり ・みどりとふれあうフェスティバル ・第15回中央区エコまつり
・中央区もりもりフェスティバル ・中央区健康福祉まつり ・第18回まちの先生見本市
- (2) 訪問学習の受け入れ
・三重県津市立橋南中学校 5月16日（水）3名
・岩手県盛岡市立下橋中学校 10月24日（水）6名

5. 学校との連携プログラム

- (1) 渋谷教育学園渋谷中学高等学校 ボランティア部（長野県栄村）
時 期：8月7日（火）～8月9日（木） 参加者：学生12名、顧問2名
内 容：加工用トマト収穫の手伝い、高齢者デイサービス訪問、郷土料理作りなど

III. 広報・PR事業

1. 各種展示及びイベント参加

- (1) 第89回メーデー中央大会 4月29日（土・祝）代々木公園
- (2) 第45回平塚市緑化まつり 4月29日（土・祝）平塚市総合公園
- (3) みどりとふれあうフェスティバル 5月12日（土）、13日（日）日比谷公園
- (4) 第15回中央区エコまつり 6月3日（日）中央区立保健所
- (5) 中央区もりもりフェスティバル 7月27日（金）中央区立環境情報センター
- (6) 中央区健康福祉まつり 10月28日（日）中央区あかつき公園
- (7) 環境活動フェス2018 11月3日（土）～5日（月）中央区立環境情報センター
- (8) 第18回まちの先生見本市 平成31年1月26日（土）新宿区立花園小学校

2. 機関誌の発行

「タマリスク」の発行

・第142号（平成30年7月発行） ・第143号（平成31年1月発行）

3. リーフレットの作成

団体紹介リーフレットの作成、配布

IV. 組織・運営基盤の計画、その他

1. 財政基盤の整備

非営利団体の事業支援に特化したWEBサービス「Syncable」への団体登録により、クレジットカードでの寄付決済が可能となった。

2. 共同活動の推進

(1) 関係団体への後援名義協力

- ①特定非営利活動法人中山間地域フォーラム「設立12周年記念シンポジウム」
- ②連合「平和ヒロシマ集会ならびに平和ナガサキ集会」
- ③全国水源の里連絡協議会「第12回全国水源の里シンポジウム」

(2) 関係団体との連携・協力

- ①「森林と市民を結ぶ全国の集い2018in東京」－変わりはじめた「山」・「ひと」・「街」－
6月16日（土）～17日（日）上智大学 四谷キャンパス
内容：実行委員として参画、当日運営協力、分科会コーディネーターなど
- ②平塚市観光協会主催への協力 「ハマヒルガオ再生プロジェクト」
6月23日（土）平塚海岸 湘南ひらつかビーチセンター周辺
内容：参加者募集広報協力など
- ③日本青年団協議会「日青協第27次植林訪中団」
8月25日（土）～29日（水） 中国内モンゴル自治区ダラト旗
内容：植樹活動の指導員として同行
- ④林野庁森林総合研究所 海外技術研修「持続可能な森林経営のための政策立案能力の強化研修」
9月13日（木）JICA東京
内容：森林保全に向けたNGO,NPOの取組について講義
- ⑤東京しごとセンター NPOスタッフ体験受入れ
9月20日（木）、22日（土）、27日（木）の3日間 男性1名
11月15日（木）、17日（土）、19日（月）の3日間 男性1名
- ⑥湘南国際マラソン大会実行委員会主催への協力
「第13回湘南国際マラソン 第10回ビーチサイドウォーク」
11月3日（金・祝） 大磯～江の島
内容：クイズの設置及び参加者誘導、ゴール地点でのクイズ景品受け渡しなど
- ⑦インターンシップの受け入れ 2月～3月にかけて10日間 東洋大学2年生 1名

3. 理事会及び常任理事会の実施

理事会	6月1日（金）	11月30日（金）	3月29日（金）
常任理事会	11月13日（火）	1月7日（月）	3月16日（土）

平成30年度 活動決算書
30年4月1日から 31年3月31日まで
特定非営利活動法人 地球緑化センター

科 目	金 額	(単位:円)
I 経常収益		
1 受取会費		
個人会員受取会費	1,514,000	
賛助会員受取会費	80,000	
法人会員受取会費	1,600,000	3,194,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	2,740,413	2,740,413
3 受取助成金等		
受取助成金	6,319,051	6,319,051
4 事業収益		
(1)緑のふるさと協力隊事業	26,793,180	
(2)体験・交流事業	9,047,459	
(3)広報・PR事業	44,280	
(4)管理部門	31,000	35,915,919
5 雑収入		
雑収入	1,130	
受取利息	244	1,374
経常収益計		48,170,757
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
給料手当	7,061,026	
法定福利費	972,362	
通勤費	247,736	
人件費計	8,281,124	
(2)その他経費		
隊員生活費	10,683,500	
会議費	422,231	
消耗品費	402,506	
印刷製本費	1,110,805	
通信運搬費	673,700	
地代家賃	2,062,200	
旅費交通費	3,506,775	
諸謝金	630,456	
保険料	443,900	
研修費	4,893,597	
資材費	4,404,806	
中国事務所運営費	600,000	
リース料	589,680	
雑費	1,270,262	
その他経費計	31,694,418	
事業費計		39,975,542
2 管理費		
(1)人件費		
役員報酬	0	
給料手当	1,620,311	
法定福利費	342,635	
通勤費	87,664	
退職給付費用	0	
人件費計	2,050,610	
(2)その他経費		
会議費	7,021	
消耗品費	147,990	
印刷製本費	65,016	
通信運搬費	209,216	
地代家賃	801,960	
旅費交通費	140,038	
資材費	329,154	
リース料	161,805	
新聞図書費	5,204	
租税公課	600	
雑費	155,704	
その他経費計	2,023,708	
管理費計		4,074,318
経常費用計		44,049,860
当期経常増減額		4,120,897
III 経常外収益		
経常外収益計		
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		
法人税、住民税及び事業税		
当期正味財産増減額		4,120,897
前期繰越正味財産額		3,721,919
次期繰越正味財産額		7,842,816

令和元年度事業計画

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

I. 基本方針

環境問題や農山村の過疎化などの社会の課題に対して、これまで通り多彩なボランティアプログラムの企画・提供、また情報発信を行っていきます。その一方で、今後も継続的な事務局運営ができるよう、事業の見直しと財政基盤の整備を進めていきます。事業収益のバランスを考慮しながら緑のふるさと協力隊事業も含めた既存事業の積極的な見直しを実施し、当センターの果たすべき役割を再度検討したうえで、自治体や企業との連携を深め、社会のニーズや時代の流れに即した新規事業の実施を目指します。

II. 事業計画

1. 「緑のふるさと協力隊」事業

「緑のふるさと協力隊」は若者と農山漁村がともに地域活性化に取り組むプログラムです。

今年度で 26 年目を迎え、11 市町村に 11 名の隊員を派遣します。隊員の活動が充実したものになるよう、受入先自治体と連携をとりながら、年間を通じたサポートに取り組みます。

(1) 平成 31 年度（第 26 期）派遣及び活動の実施

- ・市町村数と人数 11 市町村に 11 名（男 3 名、女 8 名）
- ・実施期間 4 月 4 日～3 月 15 日
- ・事前研修 4 月 4 日～4 月 10 日（山梨県立ゆずりはら青少年自然の里）
- ・中間研修 9 月 5 日～9 月 7 日（国立オリンピック記念青少年総合センター）
- ・総括研修 3 月 12 日～3 月 15 日（国立オリンピック記念青少年総合センター）
- ・職員現地訪問 6 月～7 月

(2) 受入先担当者会議の開催

- ・開催 5 月 30 日（木）～31 日（金）1 泊 2 日（国立オリンピック記念青少年総合センター）
- ・内容 受入市町村担当者同士の情報交換

(3) 短期体験プログラム「若葉のふるさと協力隊」の実施

- ①目的 農山村で暮らしてみたい、体験してみたいという農山村と関わるきっかけを求めている人、「緑のふるさと協力隊」に興味を持っている若者たちを対象に、農山村での暮らしを体験できる機会を提供する。また「緑のふるさと協力隊」への参加を促す。
- ②時期 8 月～11 月 4 泊 5 日
- ③場所 「緑のふるさと協力隊」派遣先及び受入可能な OBOG の所在地。
- ④内容 農林漁業、草刈りや環境整備など集落が必要としている作業、祭りや伝統行事の手伝い

(4) 「緑のふるさと協力隊」関係団体との連携

- ① 緑のふるさと協力隊 OBOG との協力連携（隊員募集、経験談の発信、短期プログラムの協力）
- ② その他、自治体や大学など

(5) 令和 2 年度（第 27 期）募集計画

- ①受入自治体募集
- ②協力隊員募集
 - ・説明会の実施 ・ポスター、チラシの配布 ・インターネット等を活用した広報活動の展開
- ③日程
 - ・受入先募集 11 月末締切 ・隊員募集 12 月下旬締切 ・隊員の面接選考(東京)R2 年 1 月実施

2. 体験・交流事業

(1) 森林ボランティア「山と緑の協力隊」の実施

- ① 森林ボランティア開催
 - ・赤沢（長野県） 5月、10月 計2回
 - ・三宅島（東京都） 7月、10月 計2回
 - ・湘南（神奈川県） 6月、9月、11月 計3回
- ② 「森林・竹林・里山を整備する仲間の会②」との連携・支援
- ③ 日本大学サークル「森友」活動支援

(2) 企業における社会貢献活動、CSR、社内研修および交流活動の支援協力

- ① メタウォーター(株)（奥多摩町）、沖電気工業(株)（伊豆市）、電機連合（陸前高田市）、(株)LIXIL 住宅研究所（上野原市）、日本エア・リキード(株)（陸前高田市）
- ② 新規企業および受入自治体の開拓、プログラム構築
- ③ 企業プログラム拡大に向けた広報活動

(3) 中国・緑化交流事業

- ① 緑の親善大使 河北省豊寧県での活動を実施 4月18日～22日
- ② 企業プログラム (株)日本触媒（エジンホロ旗）

(4) 「緑の学校」(環境教育プログラム)

- ① 緑の作品や教材を活かし、地域や学校へ出前授業の開催、訪問学習の受入
- ② 語り部活動の支援 ③ 作品の貸し出し

(5) 学校との連携

渋谷教育学園渋谷中学高等学校ボランティア部（長野県栄村）

3. 広報・PR 事業

(1) 機関誌の発行

- ① 機関誌「タマリスク」の発行・年2回発行 B5・8ページ/カラー1,000部
- ② 情報誌「緑の通信」の発行・年3回発行 A3・両面/カラー300部会員向け

(2) 各種展示会及びイベント参加

- ・メーデー（代々木公園） 4月27日（土）
- ・中央区エコまつり 6月2日（日）
- ・中央区もりもりフェスティバル 8月1日（木）

(3) ホームページ、facebook等インターネットによる広報活動

- ・プログラム告知、開催案内としてホームページや募集掲示板に投稿
- ・facebook等に適宜活動報告を掲載

Ⅲ. 組織・運営基盤の計画

(1) 財政基盤の整備

会員の加入促進、事業収入の増額等、事前の財源確保に努力し、堅実な財政運営を実現して行きます。とくに法人会員・寄付金増に力を入れ、財政の充実に努めます。

(2) 共同活動の推進

- ・国、自治体及び関係機関・団体との共催事業や協力事業を積極的に推進します。
- ・各地の会員、事業参加者と連携し、展示会やセミナーなど共同活動を推進します。

令和元年度 活動予算書
平成31年 4月 1日から 令和2年3月 31日まで
特定非営利活動法人 地球緑化センター
(単位:円)

科 目	金	額
I 経常収益		
1 受取会費		
個人会員受取会費	1,570,000	
賛助会員受取会費	80,000	
法人会員受取会費	1,150,000	2,800,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	2,000,000	2,000,000
3 受取助成金等		
受取助成金		2,860,000
4 事業収益		
(1)緑のふるさと協力隊事業	16,465,000	
(2)体験・交流事業	8,990,420	25,455,420
5 雑収入		
雑収入	9,900	
受取利息	100	10,000
経常収益計		33,125,420
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
給料手当	7,083,600	
法定福利費	1,082,632	
通勤費	309,160	
人件費計	8,475,392	
(2)その他経費		
隊員生活費	6,160,000	
会議費	153,290	
消耗品費	295,720	
印刷製本費	1,018,430	
通信運搬費	674,230	
地代家賃	1,711,498	
旅費交通費	2,736,493	
諸謝金	682,751	
保険料	279,970	
研修費	3,516,974	
資材費	2,275,951	
中国事務所運営費	600,000	
リース料	544,320	
雑費	606,810	
その他経費計	21,256,437	
事業費計		29,731,829
2 管理費		
(1)人件費		
役員報酬	0	
給料手当	1,200,000	
退職給付費用	604,800	
法定福利費	85,000	
通勤費	108,600	
人件費計	1,998,400	
(2)その他経費		
会議費	12,000	
消耗品費	106,480	
印刷製本費	46,440	
通信運搬費	200,944	
地代家賃	665,582	
旅費交通費	99,271	
リース料	136,080	
新聞図書費	5,204	
雑費	123,190	
その他経費計	1,395,191	
管理費計		3,393,591
経常費用計		33,125,420
当期経常増減額		0
III 経常外収益		
経常外収益計		
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		
法人税、住民税及び事業税		
当期正味財産増減額		0
前期繰越正味財産額		7,842,816
次期繰越正味財産額		7,842,816

